



▶ 島根県江津市

地域における 伝統芸能、文化の伝承

江津市には、大元神楽といった伝統芸能や、勝地半紙といった伝統文化が多数存在しており、これらを守り、後世に伝えていくための事業をふるさと納税の使い途として選択できるようにしています。

主な事業内容としては、国の重要無形民俗文化財に指定されている大元神楽の歴史や伝統を広く伝えるため、大元神楽伝承館を運営しています。館内には舞殿が設けられているほか、神楽面、御幣などの様々な資料を展示しています。

また、勝地半紙は市指定文化財に指定されているものの、需要の減少などにより深刻な後継者難にあ

ります。そのため、技術の保存、普及等の活動に対し助成を行い、後継者の育成を進めています。

毎年度の取組内容については、市のウェブサイトや広報誌に掲載することで、寄附者や市民へ広く周知を図りました。



大元神楽伝承館舞殿



大元神楽伝承館内の展示物
(神楽面や衣装など)

注力した点や 工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、勝地半紙の生産者が抱える課題として、技術継承のための製造機材の更新が必要なことについて分かりやすく示しました。

Check

取組の効果

ふるさと納税を活用し、魅力ある展示となるよう、計画的に大元神楽伝承館に展示している大元神楽の道具などの取替や模様替えを行っています。

近く6年に一度の大元神楽が予定されていることから、ふるさと納税をきっかけにまちを訪れる方も含め、交流人口の拡大が期待されます。

勝地半紙については、平成28年度は、製造施設の整備や紙すき体験の補助を実施しました。約50年前から使われている楮を蒸し上げるための炉の移設・修復作業は、報道各社にも取り上げら



勝地半紙の原料となる楮に
甑(こしき)を被せて蒸す



勝地半紙 紙漉作業

れるなど伝統的な技術の継承に向けた普及啓発活動が広がっており、後継者育成につながることを期待しています。

寄附者の声



・神楽などの伝統文化を継承していくのは大変なことです、少しでもお役にたていただければと思います。

住民の声



・和紙の魅力が多くの方に伝わるよう伝統的な技法を守り、今後もこだわりをもって継承していきます。(生産者)